

# ジョルダン ビジネスレポート

2020.10.1 ▶▶ 2021.9.30



**JORUDAN**

## 日本発MaaS共通インフラ構築への貢献を意図した 新たな挑戦を着実に進展させながら黒字経営を維持

### コロナ禍の影響を通年で受け減収減益 黒字で1年を終え、業績は改善傾向に

2021年9月期の連結業績は、コロナ禍の影響を  
通年で大きく受け、売上高は29億13百万円（前期比  
16.1%減）となりました。乗換案内事業において、旅  
行の更なる落ち込み、モバイル向け有料サービスの会  
員数減少傾向の継続に加え、前期好調だった法人向  
けの反動減もあり、減収となりました。利益面は、旅  
行の仕入高の減少のほか、コスト見直し等による人件  
費や外注費の削減効果に為替差益の増加が加わり、  
厳しい環境下ながら、黒字着地で1年を終えることが  
できました。トレンドの確認として下期のみの業績で前  
年同期比較をすると、売上高は微増、営業赤字は大幅  
縮小と改善が見て取れます。

コロナ禍の影響の和らぎとともに持ち直してきてお  
り、広告・旅行に回復傾向が見えること、法人での新  
しい案件が動き出したこと等を踏まえ、2022年9月期  
は売上高30億円、営業利益90百万円、経常利益1億  
円、親会社株主に帰属する当期純利益60百万円を見  
込みます。また、株主の皆様への還元策として、11月  
11日に上限4万株の自己株式の取得を決定しています。

### モバイルチケット展開を始め 視野広く数多くの取り組みを加速

「乗換案内」の各種インターネットサービスの有料利  
用者数（有料会員数+取り放題サービス等の月間利用  
者数）は約26万人、月間検索回数は約1億4,080万  
回と減少、緊急事態宣言解除後は少し盛り返し始めて  
いますが、依然、厳しい状況が続いています。

そうした流れの中でも、MaaS (Mobility as a  
Service) の足がかりとなるモバイルチケット展開に力  
を入れ、チケットの種類・販売数ともに増加させてき  
ました。直近では、一定時間ごとに書き換わる二次元  
コードを用いた乗車券のデジタル化と認証端末での読み  
取り・乗降（大阪モノレール）等の実証実験や、ムー  
ミンバレーパーク入園チケットやバス往復券等をセット  
にしたモバイルチケット（埼玉県飯能市）等の提供も開始

しています。また、国土交通省の日本版MaaS推進・  
支援事業に選定された沖縄県宮古島のあいのりタク  
シーや、観光庁の既存観光拠点の再生・高付加価値  
化推進事業に採択された静岡県熱海市のデマンド型  
のあいのりタクシーの実証実験を通じて、新たなビジ  
ネスモデルの模索も開始しています。

この他、新宿駅地下での利用を中心とした屋内誘導  
アプリ「新宿えきナビ 2021Summer」を始めとする  
様々な実証実験にも参加しており、東京都の「西新宿  
エリアにおける5Gを含む先端技術を活用したスマート  
シティサービス実証事業」でも実証実験を行う予定で  
す。J MaaSの取り組みは、コロナ禍により若干展開  
のスピードは落ちていますが、企画きっぷ等をSaaS型  
で鉄道会社に提供するスタイルとして、京浜急行電鉄  
が運営する「三浦COCOON」に「モバイルチケット」  
の機能等の提供を始めました。また、バスの時刻表・  
位置情報等を情報提供事業者等に向けて包括的に配  
信する公共交通HUBシステムは、移動に関するテクノ  
ロジーの進展への貢献を意図し、機能強化や対象とす  
るバス会社の拡大等の活動を続けています。

企業における勤務・移動形態の変化等に対応する新  
ソリューションとして提供を開始した、カレンダーツ  
ール等から移動経路を自動的に推定して旅費精算でき  
る「JRD-SmartAssist（スマートアシスト）」やコスト管理  
を含むオフィス配置等の検討に便利なサテライトオフィ  
スシミュレータ「JRD-RELOCATE（リロケート）」につ  
いては、持続的に引き合いをいただいています。

また、ICTを活用し、自治体等の地域ポータル構築  
を支援するまちづくりクラウドサービス「JorudanStyle3.1」には、ポイント利用サービス  
「Point & Pass」があり、貯まった自治体等のポイント  
をPayPayボーナス・楽天ポイント等に交換できる、と  
いった機能も提供しています。自治体が運営する公共  
交通機関等でのポイント利用についても模索していま  
す。また、スマートシティインフラになり得る顔認証に  
よる乗車実証実験を千葉県佐倉市・ユーカリが丘で実  
施しており、今後、この仕組みをより幅広く展開でき  
るよう対象の視野を広げています。

グループ全体で辛抱強く黒字経営を継続しながらこ  
うした新たな取り組みを数多く手掛け、コロナ禍から平  
常になるに従い確実に伸ばしていけるよう、着々と取  
り組みを進めていきます。

# 連結財務諸表ダイジェスト

## 連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 2020年9月30日	当連結会計年度 2021年9月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,344,460	4,423,406
固定資産	1,156,936	1,232,472
有形固定資産	192,616	510,868
無形固定資産	86,181	148,276
投資その他の資産	878,139	573,327
資産合計	5,501,397	5,655,879
<b>負債の部</b>		
流動負債	623,439	649,996
固定負債	43,911	33,193
負債合計	667,350	683,189
<b>純資産の部</b>		
純資産合計	4,834,047	4,972,690
負債・純資産合計	5,501,397	5,655,879

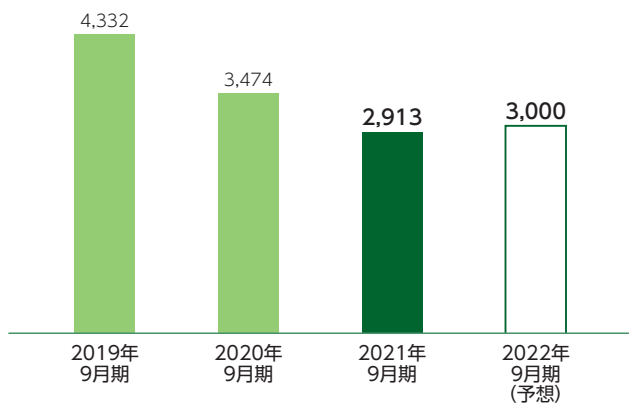
## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2019年10月1日 至 2020年9月30日	当連結会計年度 自 2020年10月1日 至 2021年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	87,661	132,641
投資活動による キャッシュ・フロー	△140,197	△250,079
財務活動による キャッシュ・フロー	137,229	70,071
現金及び現金同等物の 期末残高	3,567,002	3,606,227

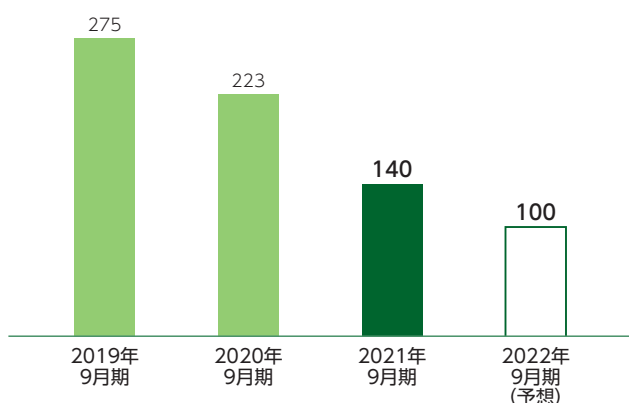
## 売上高

(単位：百万円)



## 経常利益

(単位：百万円)



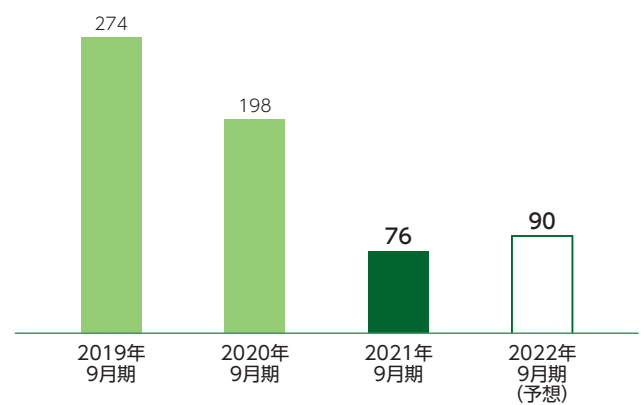
## 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	前連結会計年度 自 2019年10月1日 至 2020年9月30日	当連結会計年度 自 2020年10月1日 至 2021年9月30日
売上高	3,474,514	2,913,855
売上原価	1,980,130	1,639,310
売上総利益	1,494,384	1,274,545
返品調整引当金戻入額	12,738	881
返品調整引当金繰入額	881	570
差引売上総利益	1,506,241	1,274,856
販売費及び一般管理費	1,307,437	1,197,864
営業利益	198,803	76,991
営業外収益	37,134	65,753
営業外費用	12,793	2,556
経常利益	223,145	140,188
特別損失	75,304	36,875
税金等調整前当期純利益	147,840	103,313
法人税等合計	99,331	65,947
当期純利益	48,508	37,365
非支配株主に帰属する 当期純損失 (△)	△3,886	△2,910
親会社株主に帰属する 当期純利益	52,395	40,276

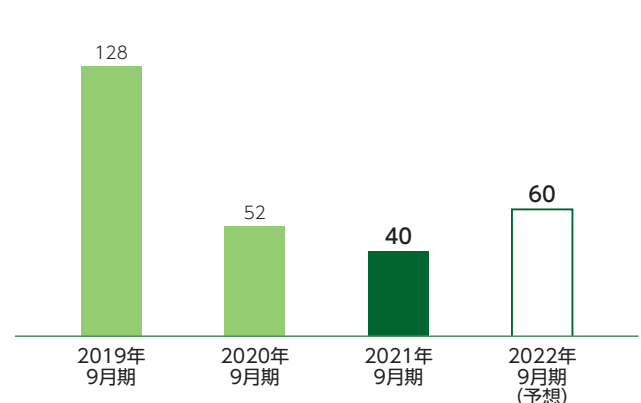
## 営業利益

(単位：百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位：百万円)



## モバイルチケットの販売を拡大

バスに加えて各地の鉄道、新潟県の芸術祭など、幅広いジャンルのモバイルチケットを販売開始しています。2021年9月時点では、34事業者等の73券種のモバイルチケットを販売しており、今後も全国各地へジャンルと事業者・券種数を拡大していきます。



### 【新規取扱事業者等一覧（2020年10月～2021年9月）】

- 2020年10月：下津井電鉄
- 2020年11月：札幌市交通事業振興公社、大分市
- 2020年12月：旭川電気軌道・道北バス、熊本市、明光バス
- 2021年1月：大島旅客自動車
- 2021年3月：北海道北見バス
- 2021年4月：新潟交通佐渡、奈良交通、岩手県交通
- 2021年5月：岐阜乗合自動車、南城市、十勝バス
- 2021年7月：長崎電気軌道、いすみ鉄道、南海バス、さどの島銀河芸術祭2021
- 2021年8月：弘南鉄道

## まちづくりクラウドサービス「JorudanStyle3.1」提供開始

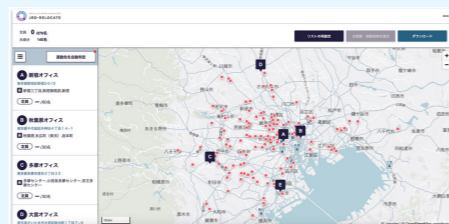
2021年4月1日より、顔認証とポイントを活用し、非接触、無人による乗り物への乗車や施設への入退出を実現する新たな、まちづくりクラウドサービス「JorudanStyle3.1」の提供を開始しました。

「JorudanStyle3.1」は、山万株式会社が開発するユーカーが丘ニュータウンにおいて、山万ユーカーが丘線とコミュニティバスの複数の交通サービスを利用する実証実験でも採用されました。この実証実験では、パナソニック株式会社の顔認証技術と組み合わせることで、非接触・非対面での本人・チケット確認、乗車管理を行い、シームレスな乗車を「顔」1つで実現しました。今後、各地の自治体や交通事業者、各種施設への導入、さらには、MaaSやスマートシティの構築・実現に参画、貢献する予定です。



## サテライトオフィスシミュレータ「JRD-RELOCATE（リロケート）」の提供を開始

2020年11月30日より、サテライトオフィスシミュレータ「JRD-RELOCATE」の提供を開始しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、首都圏近郊にサテライトオフィスを設置する企業が増えており、これに対してジョルダンが培ってきた公共交通の情報や経路検索技術を用い、サテライトオフィス設置による従業員の通勤時間・通勤費・交通費の算出と現状との差分の計算が行えるサービスとして提供しています。



## 各地でMaaS実証実験を実施

### 埼玉県さいたま市

浦和美園エリアのまちの更なる発展に寄与するために、浦和美園駅周辺の公道において自動運転バス実証実験を実施しました。この実証実験では、モバイルチケットを活用した地域型MaaSの基盤となる移動データの見える化、顔認証、次世代モビリティの取り組み等も行いました。

### 東京都新宿区

新宿駅を利用する人々がより円滑に移動できる環境の整備を促進し、案内誘導サービスの実現を支援すること等を目的に、新宿駅の屋内案内誘導アプリ「新宿えきナビ」の実証実験を実施しました。また、得られた意見を踏まえ改良を加えた「新宿えきナビ 2021Summer」の提供も実施し、利用実態調査を行いました。

### 沖縄県宮古島市

宮古島市の地域活性化と市民サービスの向上に寄与することを目的に、相乗りタクシーや住民・島出身者への新たなサブスクリプションサービスの提供を目指したMaaS実証実験を実施しました。この実証実験は、国土交通省の「日本版MaaS推進・支援事業」に採択されたものです。

### 神奈川県横浜市

みなとみらいループバス運行実験実行委員会・横浜市交通局が実施する実証実験にて、「みなとみらいループバス」乗車券をモバイルチケット化し、提供を行いました。チケットには、当社が日本での総代理店契約をしているMasabi社の「Justride」の仕組みを使い、利用者端末で購入したチケットの二次元コードを、バス乗車時に認証端末で読み取ることで、認証を行いました。

### 福岡県福岡市

「福岡市実証実験フルサポート事業」のプロジェクトとして採択された、「福岡市地下鉄MaaS推進実証プロジェクト」を実施しました。この実証実験では、利用者端末の二次元コードを対象駅に設置した認証端末で読み取ることで地下鉄の乗降車を行っており、アプリ1つで経路検索からチケットの利用までを実現しました。

## 「乗換案内アプリ」でデジタルアート展「初音ミク・クロニクル」とのコラボテーマを配信

2021年7月31日～8月22日の期間限定で、「乗換案内アプリ」においてデジタルアート展「初音ミク・クロニクル」とのコラボを実施し、初音ミクの着せ替えテーマ配信や、徒歩ナビ機能・プッシュ通知機能等の提供を行いました。また、「SoundUD」技術を活用し、初音ミクのオリジナルメッセージやプレミアムな壁紙等を提供しました。

「乗換案内アプリ」では、今後も様々なキャラクターとのコラボや特別企画を実施し、利用者数増加を目指します。



## 新旅費精算システム「JRD-SmartAssist（スマートアシスト）」の提供を開始

2021年3月15日より、新旅費精算システム「JRD-SmartAssist」の提供を開始しました。従来の駅発着ではなく、出発地・到着地に特定の場所を指定することで、移動経路を算出し、精算することが可能です。場所の指定には、各種カレンダーデータやモバイルOA（出退勤/日報システム）の位置情報も利用できます。また、オンラインで精算の申請等ができ、テレワーク等の新たな勤務形態にも対応したサービスです。



## スマートフォン向け「乗換案内」のご紹介



「jordudan」  
(スマートフォンサイト)  
<https://www.jorudan.co.jp/>



無料



### iPhone版「乗換案内」「乗換案内Plus」 「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

App Storeにて  
App > ナビゲーション >  
「乗換案内」「乗換案内Plus」「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

無料

90日間  
860円  
(税込)



### Android版「乗換案内」「乗換案内Plus」 「行き案内 - 乗換案内シリーズ」

Google Playにて  
アプリケーション > 地図&ナビ >  
無料アプリケーション > 「乗換案内」  
「行き案内 - 乗換案内シリーズ」  
有料アプリケーション > 「乗換案内Plus」

無料

90日間  
840円  
(税込)

## 会社概要 (2021年9月30日現在)

商号 ジョルダン株式会社  
(Jorudan Co.,Ltd.)  
本社所在地 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10  
設立 1979年12月  
資本金 2億7,737万5,000円  
従業員数 連結199名、単体150名

## 主要な子会社 (2021年9月30日現在)

コンパスティビー株式会社  
事業内容: 広告代理業

ゼストプロ株式会社  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

イーツアー株式会社  
事業内容: インターネットによる旅行商品の販売

株式会社悟空出版  
事業内容: 出版業

株式会社ジェイフロンティア  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

J MaaS株式会社  
事業内容: ICTを活用した移動手段の手配・販売・提供サービス

若尔丹(上海)軟件開發有限公司  
事業内容: システム・ソフトウェアの設計・開発

杰昱(上海)信息技術有限公司  
事業内容: ハードウェアの販売・保守

## 株主優待のご案内 乗換案内PREMIUM(株主優待版)

### 対象になる株主様は?

・9月末と3月末に当社株式100株以上お持ちの方

### いつ届くの? いつから使えるの?

・12月末お届け(翌年1月1日~6月30日の間有効)  
・6月末お届け(7月1日~12月31日の間有効)

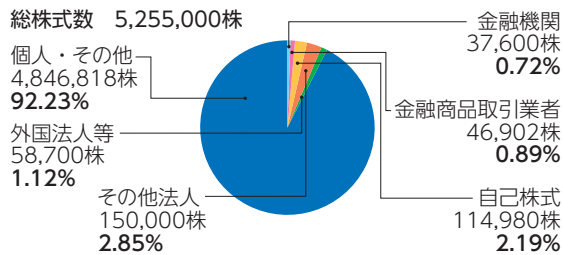
### どんな機能が使えるの?

・PCで無料版にはない多彩な経路検索  
・スマートフォン向け有料サービスも利用可能

## 株式状況 (2021年9月30日現在)

発行可能株式総数..... 19,000,000株  
発行済株式総数..... 5,255,000株  
株主数..... 4,421名

## 所有者別株式分布状況 (2021年9月30日現在)



## 株主メモ

- 事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
- 定時株主総会 毎年12月
- 基準日 毎年9月30日
- 配当金受領株主確定日 9月30日及び中間配当を実施する場合は3月31日
- 公告方法 電子公告により行います。ただし、電子公告によることのできない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <https://www.jorudan.co.jp/ir/>
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部